

環境濃縮ベクレル測定プロジェクト (Hotspot Investigators for Truth)

- これまで「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」では、東日本全体の汚染濃度を平均的に明らかにするために、高濃度に汚染された場所（マイクロホットスポット）の測定については除外するという対応を取って来ました。
- しかしながら、高濃度汚染箇所が危険であることには変わりなく、測定をしないのかという問い合わせを長らく頂いていました。
- この度「環境濃縮ベクレル測定プロジェクト」と題して、マイクロホットスポットの測定を実施していきます。
環境中で特に高濃縮が起きる地点を12種類(現状)に分類し、どのような場所で濃縮が起こりやすいのかを、測定結果をもとに視覚的にサイトで伝えていきます。
採取測定は、高濃度検体のリスクを考慮し、測定関係者にて行ないます。
- 尚、このプロジェクトは先行して測定を行なっている「Hotspot Investigators for Truth（代表：丹野心平）」と協力し合い、運営を行なっていきます。

①雨どいの下



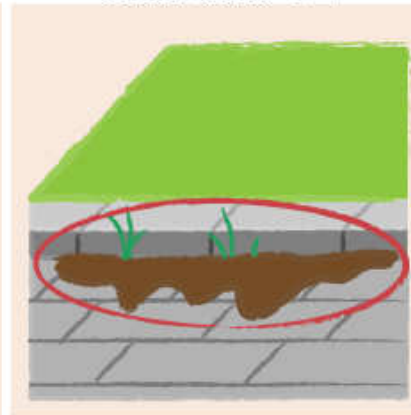
放射性物質を含んだ雨、また屋根に積もった放射性物質が雨どいを通じて、直下に溜まります。特に汚染度が高い場所であるため、注意が必要です。

②水の集まる場所



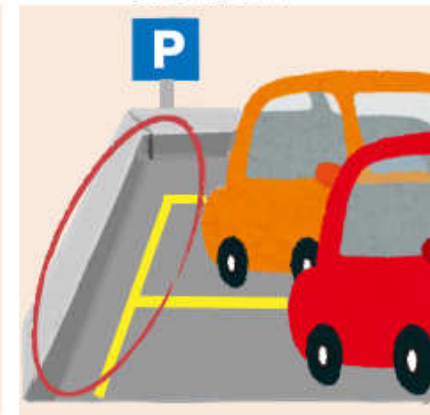
放射性物質は雨や雪に交じって降ってきます。水を介して、集まり、濃縮していきます。特に落差があり集積される場所では注意が必要です。

③路肩（路傍）の土



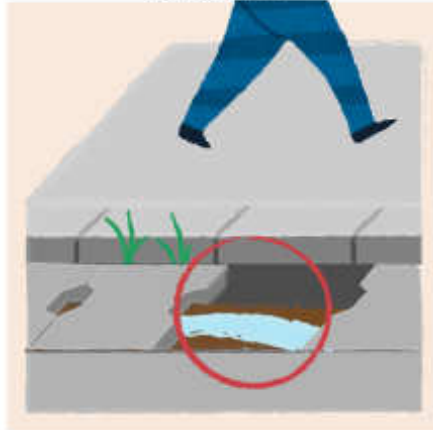
路肩（路傍）に吹き溜まった土は高濃度に濃縮している場合があります。ペットなどの通り道に注意が必要です。

④駐車場の端



車がフィルターを通して、運んできた放射性物質を微量に落とすため、駐車場の端に汚染物質が溜まっている場合があります。

⑤側溝の中



側溝の中は、あらゆる場所から排水、汚泥が集まってくるため、特に汚染度の高い場所です。子どもが手を出さないよう注意喚起する必要があります。

⑥坂の下



坂の下は、水や泥が溜まりやすく、動かないため、汚染の high なる場所です。吹き溜まりになっている所は注意が必要です。

⑦植え込み



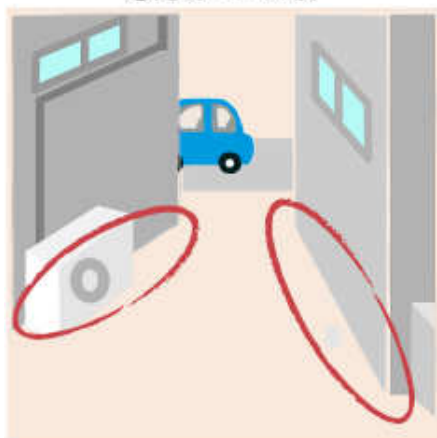
植え込みはブロックなどで囲われ、汚染物質が動かないため、濃縮が起こりやすい場所です。子どもやペットが近づきやすいため、注意が必要です。

⑧木の根もと



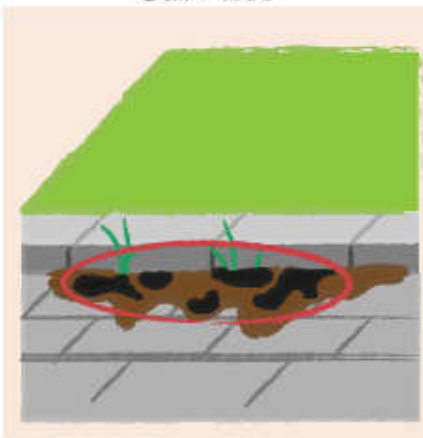
木の根もとは、葉や枝に付着した放射性物質が雨や雪を通じて落ちるため、濃縮が起こります。木の根もとでくつろぐなど、注意が必要です。

⑨建物・壁の横



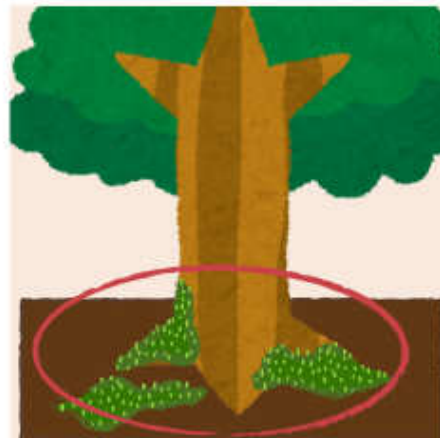
建物の壁横などは、吹き溜まりになり、放射性物質の逃げ場がないため、濃縮が起こりやすい場所です。掃除の際など、注意が必要です。

⑩黒い物質



路肩（路傍）などに溜まっているコケ様の黒い物質が放射性物質を溜めこんでいることがわかっています。不用意に触らないよう注意が必要です。

⑪苔



苔（コケ）は放射性物質を溜め、濃度が高いため、木の下、川、園芸などでの扱いには注意が必要です。

⑫掃き出し・掻き集め



側溝の泥かき、落ち葉の掃き集め、除雪作業など、人為的な掃き出しや掻き集めでは、放射性物質も集積してくるので、注意が必要です。